

## ノコンギク (野紺菊)

名前の意味<sup>いみ</sup>：野に生えるコンギクの意味。コンギクは、ノコンギク  
の栽培品<sup>さいばいひん</sup>で、花の色が紫色。

分類：双子葉類、キク科、シロヨメナ属

(キク科の栽培植物<sup>さいばいしょくぶつ</sup>：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：明るい湿った道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生<sup>じせい</sup>)

特徴：ざらざらした葉、薄紫色のキクのような花、果実の1カ所か  
ら毛が広がっている (冠毛<sup>かんもう</sup>)。

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数<sup>ごうべん</sup>：合弁、5裂<sup>れつ</sup> (よく見えない)

花の時期：9 - 11月

食べ方：食べられない

見分け方：ユウガギクには、冠毛<sup>かんもう</sup>はない。田んぼのあぜなど湿った  
所を好む。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度<sup>そうごうなんいど</sup> ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)